記者発表

進呈式のお知らせです。

令和3年12月16日
国土交通省　東北地方整備局
宮城南部復興事務所
丸　森　町

気候変動に立ち向かう全員参加の『災害教訓の見える化対策』

～ 東日本台風を教訓とした防災学習用DVDを国から町に進呈 ～

◆贈呈式日時：令和3年12月22日（水）　9:00～10:00
◆会　　場：丸森町役場　3階 302会議室

◆申込方法　：別添1「取材要領」により、お申し込みください。

＜概要＞

丸森町では、令和元年東日本台風（台風第19号）により、土石流、土砂・洪水氾濫による土砂災害や内水氾濫など甚大な被害にみまわれました。

当事務所では、この災害を契機に、河川、砂防、道路の災害復旧事業等を鋭意進めてきており、事業計画の立案にあたっては、様々な調査や住民への聞き取り調査を実施するなど、その知見を整理してきました。一方、丸森町では東日本台風被害を受けて令和2年6月に策定した「丸森町復旧・復興計画」に「自助・共助を育む防災教育と人材の育成」を位置づけ、自主防災組織の育成等に努めております。

この度、内川流域を中心とした東日本台風の河川や砂防の災害の知見を取りまとめた防災学習用DVDを作成し、丸森町に進呈します。

なお、本取り組みは、丸森町が自主防災組織の人材育成等に活用することにより、地域、町、国が連携し、ソフト対策としての流域治水に取り組むものです。

＜進呈式次第＞
① DVD進呈（宮城南部復興事務所長から丸森町長へ）
② DVD作成の目的や概要等説明（宮城南部復興事務所長）
③ DVD上映
④ 今後の自主防災組織の人材育成等に向けた町長コメント（丸森町長）

＜流域治水とは＞

近年、平成30年7月豪雨や、令和元年東日本台風（台風第19号）など、全国各地で豪雨等による水害や土砂災害が発生するなど、人命や社会経済への甚大な被害が生じています。

これらを踏まえ、国土交通大臣から社会資本整備審議会会長に対して、「気候変動を踏まえた水災害対策のあり方について」が諮問され、令和2年7月に答申がとりまとめられました。

この答申を踏まえ、気候変動に伴い頻発・激甚化する水害・土砂災害等に対し、防災・減災が主流となる社会を目指し、「流域治水」の考え方に基づいて、堤防整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域から氾濫域にわたる流域のあらゆる関係者で水災害対策を推進します。

＜動画試写用YOUTUBEの公開＞

https://youtu.be/kB-hqoQf0rs （進呈式の翌日から令和4年2月28日まで視聴可）

発表記者会：白石記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　宮城南部復興事務所
宮城県伊具郡丸森町字除北20番地　電話：0224－51－8290（代表）
副所長（技術）　斎藤（さいとう）　巧（たくみ）　　建設専門官　松田（まつだ）　宏一（こういち）

丸森町　復興対策室
宮城県伊具郡丸森町字鳥屋120　電話：0224－72－2111（代表）
室長　日下（くさか）　健（けん）　　室長補佐　阿部（あべ）　憲裕（のりひろ）

〔別添１〕

〔取材要領〕

１．事前申し込みについて

取材を希望される方は、下記〔メール記載事項〕を記入の上、「申込先のメールアドレス」へ送信願います。

申 込 先： thr-miyaginanbu-mi@mlit.go.jp

申込期限： １２月２１日（火） １２：００

（スムーズな運営のため、御理解と御協力をお願いいたします。）

〔メール記載事項：本文に直接記載いただくことも可能です。〕

メール件名：211222 ＤＶＤ進呈式

松田　あて

下記のとおり１２月２２日の取材を申し込みます。

1）所属記者会名　（宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会 等）

2）取材者（代表者）の会社・部署名・役職・氏名・連絡先

（連絡先（携帯番号等）は必ず、記載してください）

3）取材者の人数　（カメラマン、音声担当等も含めた総人数）

上記事項は、日程の変更などのお知らせや、取材スペースの確保に必要な情報となりますので、記入漏れの無いよう御協力をお願いいたします。

２．取材当日について

○ 丸森町役場「3 階 302 会議室前」にて受付をお願いいたします。

・受付時間　８：３０～８：４５

※ 記者の皆様には「mp4 版 DVD」(簡易ラベル)を差し上げます。

(注意事項)

・取材にあたっては担当者の指示に従うようお願いいたします。

・新型コロナウイルス感染防止のため、体調の悪い方は、出席を控えてください。

・取材をされる方は、マスクの着用をお願いします。

・密集回避のため、最低限の人数による取材をお願いします。